

JENESYS2016 招へいプログラム 3 陣

対象国：カンボジア テーマ：(政治)若手行政官交流

対象国：タイ テーマ：(文化)日本語コミュニケーション・日本文化交流
(技術)科学技術交流

対象国：フィリピン テーマ：(文化)日本語コミュニケーション・日本文化交流
(技術)食の安全交流
の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2016」として、カンボジアより社会人（王立行政学院の学生）25名、タイより高校生51名、フィリピンより高校生、大学生、大学院生の計56名が、11月1日～11月8日の7泊8日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、教育及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。地方自治体訪問、企業訪問、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて对外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】カンボジア 25名、タイ 51名、フィリピン 56名（五十音順）

【訪問地】東京都（全員）、宮城県（カンボジア25名、フィリピン28名）、千葉県（フィリピン28名）、神奈川県（タイ25名）、徳島県（タイ26名）

2. 日程

11月1日（火） 成田国際空港より入国
【オリエンテーション】

11月2日（水）

1. カンボジア（政治）：

【日本理解講義/基調講演】日本の政治・行政

【都内視察】国会議事堂（参議院）

【政治関連講義】外務省職員との交流会

2. タイ（文化）：

【日本理解講義/基調講演】今日の日本

【歴史的建造物視察／文化体験】江戸東京博物館

【ポップカルチャー】秋葉原

3. タイ（技術）：

【日本理解講義/基調講演】日本の製造技術の発展と将来

【最先端技術視察】海ほたる、うみめがね

4. フィリピン（文化）：

- 【日本理解講義/基調講演】今日の日本
- 【歴史的建造物視察／文化体験】江戸東京博物館
- 【ポップカルチャー】秋葉原

5. フィリピン（技術）：

- 【日本理解講義/基調講演】日本の食の安全
- 【企業視察】パルシステム生活協同組合連合会 岩槻センター

11月3日（木）～11月7日（月）

国およびテーマごとに分かれ、各地方へ移動

1. カンボジア（政治）：宮城県

- 【地方自治体表敬訪問・地域概要講義】南三陸町役場
- 【防災関連施設視察】震災語り部ツアー
- 【地域概要講義・意見交換】大崎市役所・市議会
- 【文化体験】伝統こけし絵付け体験
- 【地域産業・企業視察】有限会社千田清掃
- 【ホームステイ】
- 【ワークショップ】

2. タイ（文化）：徳島県

- 【文化体験】藍の館、阿波おどり会館
- 【地方自治体表敬訪問・地域概要講義】徳島県庁
- 【学校交流】徳島県立徳島北高等学校
- 【ホームステイ】
- 【ワークショップ】

3. タイ（技術）：神奈川県

- 【歴史的建造物視察】浅草
- 【最先端技術視察】日本科学未来館
- 【学校交流】横須賀総合高等学校、横須賀明光高等学校
- 【ホームステイ】
- 【ワークショップ】

4. フィリピン（文化）：千葉県

- 【歴史的建造物視察】浅草
- 【最先端技術視察】海ほたる、うみめがね
- 【地方自治体表敬訪問】鴨川市
- 【学校交流】文理開成高等学校
- 【文化体験・企業視察】有限会社島津商店(鯉節製造)
- 【ホームステイ】
- 【自然体験】大山千枚田
- 【文化体験】書道
- 【地域産業視察】みんなみの里(道の駅)
- 【環境関連施設視察】鴨川シーワールド

【ワークショップ】

5. フィリピン（技術）：宮城県

【歴史的建造物視察】松島

【地域産業・企業視察】一ノ蔵（酒類製造業）、JA みどりの

【地域概要講義】公益財団法人 仙台市観光国際協会

【学校交流】宮城大学 食産業学科

【ホームステイ】

【文化体験】和太鼓体験

【ワークショップ】

11月7日（月） 地方プログラム終了後、東京へ移動

【歴史的建造物視察】原宿・明治神宮（タイ（技術））

【最先端技術視察】日本科学未来館（フィリピン（文化））

【報告会】（全員）

11月8日（火） 成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

共通プログラム（東京都）

	
11/2 【都内視察】国会議事堂（参議院） （カンボジア）	11/2 【企業視察】パルシステム生協 岩槻センター（フィリピン 技術）
【Observation】Diet Building (Cambodia)	【Observation of Regional Company】 Palsystem Consumers' Co-operative Union Iwatsuki Center (The Philippines, Technology)

カンボジア(政治)：宮城県

	
<p>11/3 【地方自治体表敬訪問・地域概要講義】 南三陸町役場</p>	<p>11/3 【防災関連施設視察】震災語り部ツアー</p>
<p>【Lecture on Outline of the Region】 Minamisanriku-cho Government</p>	<p>【Observation of Disaster prevention-related facility】Tour Guided by Earthquake Teller</p>
	
<p>11/4 【文化体験】こけしの絵付け 【Cultural Experience】Kokeshi Doll Painting</p>	<p>11/4 【地域概要講義・意見交換】大崎市議会 【Opinion Exchange】City of Osaki Government and City Council</p>
	
<p>11/4 【地域産業・企業視察】千田清掃 【Observation of Regional Industry/Company 】Chida Clean</p>	<p>11/5 【ホームステイ】 【Homestay】</p>

タイ（文化）：徳島県



11/3 【文化体験】 藍の館
【Cultural Experience】 Aizome (Dyeing)



11/3 【文化体験】 阿波おどり会館
【Cultural Experience】 Awa Odori
Kaikan(Awa Dance Hall)



11/4 【学校交流】 徳島県立徳島北高等学校
【School Exchange】 Tokushimakita Seior
High School



11/4 【地方自治体表敬訪問/地域概要講義】
徳島県庁
【 Courtesy Call 】 Courtesy Call on
Tokushima Prefectural Capital

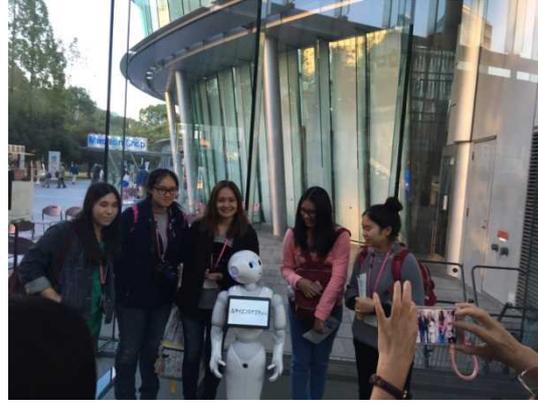


11/5 【ホームステイ】
【Homestay】



11/6 【歓送会】
【Farewell Party】

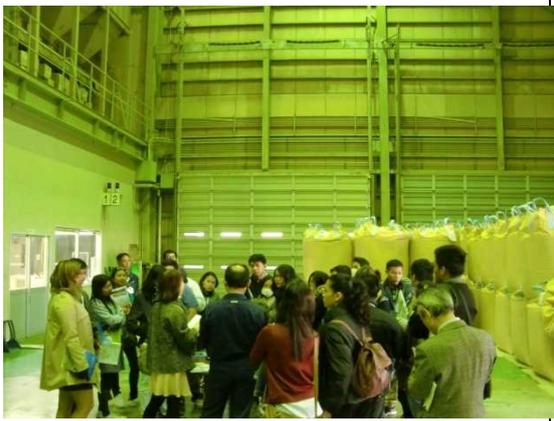
タイ（技術）：神奈川県

	
<p>11/2 【日本理解講義】</p>	<p>11/2 【最先端技術視察】 うみめがね</p>
<p>【Lecture on Outline of Japanese Culture】</p>	<p>【Observation of Cutting-Edge Technology】 Umimegane</p>
	
<p>11/2 【最先端技術視察】 日本科学未来館</p>	<p>11/4 【学校交流】 横須賀総合高校</p>
<p>【Observation of Cutting-Edge Technology】 National Museum of Emerging Science and Innovation (Miraikan)</p>	<p>【School Exchange】 Yokosuka Sogo High School</p>
	
<p>11/4 【学校交流】 横須賀明光高校</p>	<p>11/6 【歓送会】 横須賀総合高校・横須賀明光 高校（合同）</p>
<p>【School Exchange】 Yokosuka Meiko Senior High School</p>	<p>【Farewell Party】 Yokosuka Sogo High School, Yokosuka Meiko Senior High School</p>

フィリピン（文化）：千葉県

	
<p>11/3 【地域産業・企業視察】 島津商店 【Observation of Regional Industry/Company】 Shimadu Shoten(Dried Bonito Company)</p>	<p>11/4 【学校交流】 文理開成高校 【School Exchange】 Bunri-kaisei High School</p>
	
<p>11/5 【文化体験】 習字 【Cultural Experience】 Calligraphy Experience</p>	<p>11/5 【自然/文化体験】 大山千枚田 【Nature/Cultural Experience】 Oyama Senmaida (Terraced Fields)</p>
	
<p>11/5 【地域産業視察】 みんなみの里(道の駅) 【Lecture on Outline of the Region】 Minnami no Sato(Roadside Station)</p>	<p>11/5 【ホームステイ】 歓送会 【Homestay】 Farewell Party</p>

フィリピン（技術）：宮城県

	
<p>11/3 【地域産業・企業視察】JA みどりの</p>	<p>11/3 【地域産業・企業視察】一ノ蔵（酒類製造業）</p>
<p>【Observation of Regional Industry/Company】Japan Agricultural Cooperatives Midorino</p>	<p>【Observation of Regional Industry/Company】Ichinokura Co.,Ltd. (Sake Manufacturer)</p>
	
<p>11/6 【文化体験】和太鼓体験</p>	<p>11/4 【学校交流】宮城大学 食産業学科</p>
<p>【Cultural Experience】Wadaiko(Japanese Drums)</p>	<p>【School Exchange】Miyagi University Faculty of Food Industry</p>
	
<p>11/4 【地域概要講義】公益財団法人 仙台観光国際協会</p>	<p>11/5 【ホームステイ】</p>
<p>【Lecture on Outline of the Region】Sendai Tourism, Convention and International Association</p>	<p>【Homestay】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ カンボジア 若手行政官

基調講演の内容は明確で、貴重な経験を得ることができました。この貴重な経験を将来のビジョンや政策立案に貢献できるものと確信しています。行政官の制度の中で勤続年数や年齢などの要素を重視して年功序列制度が採用され、身分階級が低くても理想的な生活を維持することができ、嫉妬心や腐敗を抑制することができます。また、2011年の大震災によって被害を受けた被災地を訪問し、行政の担当者から被害状況の説明を受けました。市民生活から得られた経験として「絶対に安全という場所はない」と教えてくれました。私にとって忘れることのできない言葉となりました。日本人の家での宿泊では伝統文化、生活習慣、食生活などを学ぶことができました。私たちは心温まる歓迎とおもてなしを受け、お互い交流を深めることができました。日本人の礼儀正しさとお互いに尊重し合うことにとっても感心しました。

◆ タイ 学生（技術）

日本の発展に関して、講義を受けました。日本は資源のない国なのに産業を発展させたことに感動しました。まず安定した基礎から始まり、発展していきました。このような事をタイ国でも応用すれば、かなり役に立つと思います。学校では先生をはじめ皆さんから歓迎をうけ、素晴らしい友情を築き上げることができました。私たちはお互いに言葉はあまり通じませんでしたが、良く面倒を見てくれました。相手を尊重するという気持ちに暖かさを感じました。ホストファミリーは、全ての面で大変良く面倒を見てくれました。まるでタイの自宅にいるようでした。

◆ フィリピン 学生（技術）

宮城大学は興味深いプログラムの一つでした。私自身、大学生や研究者として宮城大学内の研究室に設置された機器を見学でき、新しい技術に気付きました。大学の教授や学生たちは、本当に私たちを温かく迎えてくれて、たくさんの人と交流ができました。大学の建物も現代建築の様相を帯びていて、とても学ぶのに適した静かな環境にありました。このプログラムのおかげで宮城大学にとっても良い印象を持ち、日本、あるいは仙台で博士過程に進みたいと思う程でした。

5. 受け入れ側の感想

◆ ホストファミリー（カンボジア）

カンボジアの青年は、すごく礼儀正しくて、しかも整理整頓も素晴らしく、びっくりしました。しかも日本語を学ぶことも意欲的に取り組む姿勢にすばらしいと思いました。食事でも好き嫌いもなく安心して食事を提供できました。カンボジアの高官の人のレベルの高さに驚かれました。それは人への気づかいが一番でした。自国のアピールもあり、社交的な一面も感じました。

◆ 交流先学校 担当者（タイ 技術）

生徒の感想にもありましたが、亡くなられた国王に捧げる歌を訪日団が歌いながら号泣している姿は大変印象的でした。貴重な異文化体験でした。

◆ 交流先 生徒（タイ 文化）

Facebook や Instagram, LINE の連絡先を好感したので、彼らが帰ってしまった今でも連絡を取り合っています。日本語でのやり取りが多いので、彼らの日本語の勉強に役立てばいいなと思います。高校生のうちにこのような経験ができて本当に恵まれている事を改めて実感しました。

◆ 交流先学校 担当者（フィリピン 技術）

本学での交流プログラムでは、訪日団の皆様と日本人学生が授業内で行ったグループディスカッションや、学生交流会の時間において、参加していた本学学生が積極的に、かつ楽しみながら意見交換する姿が印象的でした。実際に、貴プログラム実施後に学内で開催している国際交流イベントには、貴プログラムへの参加学生が多く参加しており、国際理解に対する意識の高まりが見られています。同分野で学修・研究活動を行う海外の大学生との交流は、本学学生にとって多くの刺激や気づきを得た機会となり、国際的関心や学習意欲の向上につながるものであったと感じています。

6. 参加者の対外発信

	<p style="text-align: center;">Jenesys</p> <p style="text-align: center;">WHAT IS JAPAN?</p>  <p style="text-align: center;">ALL ABOUT JAPAN CULTURE ATTRACTIONS LANGUAGE</p>
<p>【カンボジア】 大震災後、住民と南三陸町の職員が一丸となつて復興に取り組んだ事が印象に残つた。</p>	<p>【フィリピン（文化）】 「日本ってどんな国？」日本の文化・魅力・言語について発信</p>
<p>【Cambodia】 It was impressive to see and hear how reconstruction in affected area from the East Japan earthquake in 2011 has been accomplished by the residents and Minamisanriku-cho Government officers.</p>	<p>【The Philippines(Culture)】 What is Japan like ? All about Japanese culture, Attraction and Language, etc</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	<p>ACTION PLAN: Website</p> <p>We want to share not just to the Filipinos but also people across the world, the learning we had in the JENESYS program. Since the internet is the most used source of information, we want to make the most out of it by using it as a bridge between different people in sharing their experiences in Japan.</p> <p>We also want to create a platform for the JENESYS alumni to maintain connection through sharing memories and experiences through articles, photos, and videos.</p> <p>Click the link to see website: https://jenesysojnsel.wordpress.com/</p> <hr style="border: 5px solid #8B0000;"/>
<p>【タイ(技術)】</p> <p>①参加者全員が、小グループに分かれ、自分たちの見学した場所全てを簡単にまとめる。</p> <p>②グループごとに、パンティップと呼ばれる、今タイで一番人気のあるサイトに投稿する。</p> <p>③参加者全員が、パンティップのサイトにアクセスし、そこで得られた情報をスクールメディアに流すことにより、多くの人がその情報を入手できるようになる。</p>	<p>【フィリピン(文化)】</p> <p>ウェブサイト</p> <p>情報発信に最もよく使われているインターネットを使って、フィリピンのみならず世界中の人たちに向けて私たちが JENESYS で経験した事、学んだことを発信する。</p> <p>このサイトは私たち JENESYS 同窓会の基盤ともなる。私たちは記事、写真、動画を投稿して、この繋がりを維持していく。</p>
<p>【Thai(Technology)】</p> <p>①Participants will be separated into groups, each group will be given a specific place (from all the places that we visited) to write a casual report about them.</p> <p>②Those reports will be gathered together, then posted on a site called "Pantip" which is a popular site among Thai people.</p> <p>③Every participant will be able to copy, then share the link of the Pantip site, then share it on all their social media as it will connect to more people/readers.</p>	<p>【The Philippines(Culture)】</p> <p>Website</p> <p>We want to share not just to the Filipinos but also people across the world the learning we had in the JENESYS program by using internet as a bridge between different people.</p> <p>We also want to create a platform for the JENESYS alumni to maintain connection through articles, photos and videos.</p>